



2025 年

10月24日 金

時 間 14:45 ~ 16:15 (開場 14:30)

会 場 東洋大学 朝霞キャンパス
2101教室 (2号館1階)

畝山 智香子 氏

ほんとうの「食の安全」を考える

私たちは日常的に「食の安全」を話題にしているが、そのほんとうの意味を説明できるだろうか？
あなたはどのような条件があれば「安心」できるのだろうか？

私たちが生きるために毎日食べている食品は、無数の未知の化学物質のかたまりであり、その安全性を確保するためには生産から消費に至るまでの全ての関係者に責任がある。食の安全には、専門的な知識や技術と同時に全ての人の理解と協力が求められる極めて高度なシステムが必要なのである。一方で食の安全は一般に間違った情報が出回り誤解されていることが多いトピックスでもある。

ここでは食品添加物や残留農薬から健康食品まで、食品中の化学物質の安全性がどのように評価され管理されているかの概要を示すとともに、食品のリスクの考え方を説明する。食品の安全は全ての人が適切な情報をもとに行動することによってのみ確保される。偽・誤情報の時代だからこそ、基本を確実に身につけよう。

■ 講師プロフィール

畝山智香子（薬学博士）。1988年、東北大学大学院薬学研究科博士前期課程修了。同年、国立衛生試験所安全性生物試験研究センター病理部に入所。2003年より国立医薬品食品衛生研究所安全情報部、2010年安全情報部第三室長、2016年安全情報部長を歴任。2024年より国立医薬品食品衛生研究所客員研究員。

主な著書に、『ほんとうの「食の安全」を考えるーゼロリスクという幻想』、『「安全な食べもの」って何だろう？』、『「健康食品」のことがよくわかる本』、『食品添加物はなぜ嫌われるのかー食品情報を「正しく」読み解くリテラシー』、『サプリメントの不都合な真実』などがある。



◀ 参加のお申込み

学外者（本学教職員・学生以外）の方は、お申込みをお願いします。定員に達し次第、申込みを締め切ります。



◀ 会場へのアクセス

朝霞台駅（東武東上線）北口 または
北朝霞駅（JR武蔵野線）東口 徒歩10分

【問合せ先】東洋大学朝霞 事務課大学院担当（mllfinkyomu@toyo.jp）



東洋大学

<https://www.toyo.ac.jp/academics/gfns/>